

又戦ノ状態ナリタルカ因テ諸停課ノ斡旋ニ依リ、案
月二十九日全課ニ於テ工場主榎本栄次郎ハ組合代表
第一半議團代表渡辺一郎 星野和平 肥沼菊
三郎 吉野金蔵ト會見交渉ヲ開始シタルカ双方ノ善
惡嚮左記ノ通ニシテ何等解決ノ曙光ナクシテ會
見ヲ了スリセリ

記

一 工場主ノ意嚮

工場主ハ事業不振ノ爲メ製只半減シタル爲メ職工
モ之レニ比例シテ半減則チ十四五名ノ解雇ヲ要ス
ル又斯ル多数ノ解雇ハ忍ビ難キヲ以テ最大限度ノ
五、六名ハ解雇スヘキ意嚮ヲ有シ半議発生当初

ヨリ工場廃止ヲ以テ休ミ居レル爲メ態度依然トシテ
強硬ニシテ目下ノ処讓歩ノ模様ナシ

二 従業員側ノ意嚮

従業員側ハ製品ハ従来通ニシテ半減ノ率實ナク
且ツ仕事ノ性質上全賃使偏スルノ必要アリ五
六名解雇ノ必要ヲ絶對ニ認メス解雇ニ反対スル元
ノナリト主張シ十三ヶ条ノ要求条項ハ讓歩シテ工
場主ヨリノ第一回ト答(五月二十七日附労秘才九。四號)ヲ承
認スルエトナレルモ解雇問題ニ於テ意見ノ一致ヲ見
サル爲メ解雇手当半議費用等ノ問題ニ進展
セズシテ會見ヲ終レリ

右及申(通)報候也